

団体名： つどいの会（小金井市）

活動内容： 精神障害を持つ当事者のみならず、家族、関係者、市民、関心のある人が誰でも参加できる居場所としての定例会を開催



設立： 1990年 活動開始

代表者名： 中林 澄明さん

団体スタッフ： ボランティアスタッフ 3名

活動実績：

- 毎月一回定期開催を継続
- 会報を年2回発行（精神保健福祉に関する情報）
- 2016年度に活動を一時休止、活動バージョンアップを目的に、情報収集と新規の活動について検討
- 2017年4月活動再開宣言をし、月一回の定例会を再開

精神障害者の居場所の選択肢がなかった1990年に「心の病に関心を持つ方の集まり」として活動を開始し、25年にわたり月1回の定例会を続けてきました。今後は精神障害を持つ当事者のみならず、家族、関係者、市民、関心がある人なら誰でも参加できるような、小金井の地元密着のカフェのような居場所づくりをしていきたいと考えています。

東京ホームタウンプロジェクトの支援内容：Facebookページ立ち上げ



(プロボノチームの成果物)

「つどいの会」とは… ところが折れた人・折れそうな人の居場所・とまりぎ
 ～当事者だからこそ分かる体験を共有し、共感を軸にお互いに認め合いところをつなぐ～

ターゲット
 もう一度輝く働きたい層⇒しばらくゆっくりしたい層 両サイドに寄り添う
 (20～40代ビジネスパーソン)
 →20～40代の新しいつどいの会のメンバーを入れることで社会とのタッチポイントを
 広げ、加齢化している組織を活性化し、ご高齢の運営者、関係者をサポートする

目的
 間口を広げ、参加者を増やす
 場を共有し共感を軸にお互いに認め合いところをつなぐ
 理念の理解者であり運営者となる人材の育成する

■ Face Book(情報発信)
「いいね！」ボタンで仲間、情報の拡散

- > イベント通知
- > ピア・味方を増やす
- > 中林さんとのつながり
- > SNS機能
- > 掲示板機能

濱田さんのメンテナンスと中林さんのつぶやき

■ イベント(定期開催)
リアルなつながりの場の設定

- > 定期開催により役割認識を持ち、自信をつけて活動し参加者から運営側へ回る

【コンテンツ】

- ①当事者の体験発表会
 (当事者の体験談)
- ②定期イベント
 (季節のイベント)
- ③個別イベント
 (他組織と交流、音楽イベント等)

目的：次世代の担い手探しやご高齢の方とのタッチポイントを増やしたい

支援内容：活動を伝え仲間とのつながりを生むFacebookページの作成
 当初は情報発信ツールとしてチラシ制作の予定でしたが、団体とプロボノチームで課題を再整理し議論を重ねた結果、定例会開催の情報発信と仲間づくりの両方に効果的なFacebookページの立ち上げ支援を行いました。